

1. 株式会社石垣、四国化成工業株式会社が相次いで坂出市に新工場を建設し、雇用創出などの効果が期待されます。坂出市も若い世代の移住促進に向け、この夏、香川大経済学部と連携して企業と学生のマッチング事業を実施しました。香川大との連携を含め、若者の定着、U&Iターンを促す取り組みについて新たな展開、構想がありましたら、お聞かせください。

就職をきっかけとした若者の定住促進に向け、香川大学経済学部・法学部の学生が就活生の視点で企業の採用活動や魅力を洗い出す「企業見学ツアー」を実施いたしました。初めての試みとなる本ツアーには、就職活動を控えた3年生や就職活動を終えた4年生が参加し、直接企業の採用担当者とグループワーク討議を行う中で、企業が考える学生のニーズと学生が実際に求めている企業情報との間にギャップがあるなど、企業の採用活動に有益な情報を得ることができたと考えております。

このようなことから、企業が就職に関する情報を提供する場として、就職説明会が重要であるという学生の意見を踏まえ、市内企業に対し、市外あるいは県外で開催される就職説明会への出展を支援する「坂出市就職説明会等出展支援事業補助金」の活用を推進することで、就職先を探す若者が多く集まる就職説明会への参加を働きかけるとともに、市内企業の人材確保に向けた取り組みを支援してまいります。

また、移住先の選択では、理想とする暮らしを思い描く中で、住まいや仕事、生活環境などの欠かせない要件を整理し、検討を重ねながら移住先を選定していきます。移住者獲得に向けた自治体間競争が熱を帯びる中で、本市の現状としましては、この候補地選定の過程で、移住希望者に必要な情報を届けられていないことが大きな課題であると考えております。そこで、昨年より移住コーディネーターを配置し、相談体制の整備を進めるとともに、ポータルサイトの開設や冊子の作成など、情報発信の強化に取り組んでいるところであり、各種メディアの皆さまに取り上げていただいたこともあり、ポータルサイトの認知も徐々に広まってきているところでございます。

また、若者の地元定着につきましては、住環境や雇用の充実、切れ目のない子育て支援のほか、シビックプライドの醸成など、多面的・多角的な視点からの取り組みが重要であると考えており、現在、令和8年度予算に向けて、分野横断的に検討を進めているところであり、引き続き、効果的な移住・定住施策の実施に取り組んでまいります。

2. 高市早苗氏による新内閣が発足しました。地方自治体として、新内閣に望む施策などをお聞かせください。

高市新内閣が発足したことを心からお祝い申し上げます。また、女性初の内閣ということで、大いに期待しております。

現在、我が国は、人口減少対策をはじめ、物価高対策や激甚化・頻発化する自然災害への対応など、重要課題が山積しております。

このような状況の中、多くの自治体においても、共通の課題を抱えており、特に深刻化する人口減少問題は、地域の担い手不足に直結し、経済やコミュニティの衰退等、地方自治体そのものの存続に関わる問題であると認識しており、新内閣においては、力強いリーダーシップのもと、都会から地方への新たな人の流れの創出に向けて取り組まれるよう強く求めたいと考えております。

さらに、物価高対策や自然災害への対応など、国民生活に直結する待ったなしの課題に対して、一日も早い対応を求めるとともに、国・地方の一層の連携強化を図りつつ、安定的な行政サービスの提供に向けて、必要な財源の確保・充実をお願いしたいと存じます。